

はい!よろこんで!!

2025 March  Vol.74

愛媛県今治市倫理法人会（事務局）
〒793-0003 西条市西ひうち6-12
TEL: 0897-56-1930 FAX: 0897-56-1986



今治市倫理法人会令和7年度新年会

1月14日(火)ナイトセミナー終了後、19:30より「はな亭」にて新年会が開催されました。講師の安元重実法人レクチャーにもご参加いただき盛会となりました。会員同士、美しい料理に舌鼓を打ちながら祝杯を重ねつつ、親睦を深めました。続いて恒例の、会員が持ち寄った景品による抽選会が行われました。ほとんどの参加者が景品を手にして満面の笑みでした。満員御礼となった新年会は52名の参加がありました。



愛媛県倫理法人会 新春の集い&新年会

令和7年1月8日(水)午後5時15分よりANAクラウンプラザホテル松山にて、愛媛県倫理法人会「新春の集い」「新年会」が開催されました。「新春の集い」では東・中・南予の会員による実践報告が行われました。今治市倫理法人会からは島原陸人氏による報告がありました。「入会のきっかけはトマト農園の勉強でお世話になっていた、井門専任幹事から倫理を学べる良い会があると誘いいただき参加したことがきっかけです。倫理の学びのおかげで自分が独立する時に土地を探すところから人とのご縁がきっかけでハウスまで貸していただけたところまで決まり、諦めずにまずは自分の足を動かし行動することで人生は好転することを実感しました。今後も引き続き倫理の学びを通じて世の中に少しでも貢献していきたいです。」「やればできる!」力強い報告は聴いている方々の胸に響いていました。



愛媛マラソン

2025年2月9日(日)に開催された愛媛マラソンに今治市倫理法人会の会員9名が参加し自己革新を図り最善を尽くしました。



バレンタイン・マドンナ月間

2月は4週にわたって女性講師によるモーニングセミナーが開催されました。2月18日(火)今治市倫理法人会の第94回ナイトセミナーでは、一般社団法人倫理研究所 法人局 法人レクチャーの市川仁美氏をお迎えし、ご講話をいただきました。市川氏は、岡山県の玉野児島倫理法人会の会長を務められ、家業の有限会社市川金物の専務取締役、Salondo PlaneFlower 代表として削り華アーティスト・カンナで絵を薄く削り絵のお花の販売及びワークショップを行っております。また、中高生のキャリア教育を支援する一般社団法人未来をつなぐ子どもたちへD'esirの副理事長として、若者の育成にも尽力されています。講話では、市川氏の倫理との出会いや、職人技術の伝承への思いについてお話しいただきました。特に、カンナを使った「削り華」や、子どもたちに仕事のリアルを伝えるキャリア教育活動についての内容は、多くの参加者にとって刺激的で、深い学びの時間となりました。



役、Salondo PlaneFlower 代表として削り華アーティスト・カンナで絵を薄く削り絵のお花の販売及びワークショップを行っております。また、中高生のキャリア教育を支援する一般社団法人未来をつなぐ子どもたちへD'esirの副理事長として、若者の育成にも尽力されています。講話では、市川氏の倫理との出会いや、職人技術の伝承への思いについてお話しいただきました。特に、カンナを使った「削り華」や、子どもたちに仕事のリアルを伝えるキャリア教育活動についての内容は、多くの参加者にとって刺激的で、深い学びの時間となりました。

新入会員紹介

—30歳での転職と修行の日々— 西田さんは、30歳になる年に地元・今治で営んでいたショットバーを閉め、新たな挑戦のため久留米の老舗ラーメン店へ修行に行きました。もともと食べ歩きが好きで、日本各地のラーメンを研究する中で「ここだ」と思える店に出会い、その味を学ぶ決意をしたそうです。「住み込みではなく家族と一緒に移り住みました。店の方が住居も用意してくれて、とても助かりましたね。」修行先は厳格なキャリアアップ制度があり、見習いから正社員へと段階を踏んで成長する仕組みが整っていました。「試験が明確で、どのレベルに達すれば次のステップに進めるのかははっきりしていたので、目標を持って取り組むことができました。」—店長経験と独立への道— 修行を経て、松山の店舗へ異動。そこで店長としての経験を積み、最終的には独立を果たします。「37歳で今の店をオープンしました。当時は景気も良く、勢いに乗ってスタートでしたが、その翌年にリーマンショックが直撃しました。」経済の影響を受けながらも、地元のプロガーたちと協力してご当地ラーメンの開発に取り組むなど、新しい試みにも挑戦しました。—東京ラーメンショー出場と全国展開— 2014年、東京の世田谷で開催された「東京ラーメンショー」に招待されたことで、知名度が一気に上昇。カップラーメンの監修や百貨店での催事販売など、全国へと活動の幅を広げました。「気づけば、ラーメンの名所として正式に地図に載るほどになっていました。」しかし、コロナ禍の影響で、現在は今治ラーメンが提供できるお店も3店舗のみが残る状況に。—業界の課題と未来への挑戦— 「今、ラーメン業界は人材不足が深刻です。職人の高齢化が進み、後継者問題も大きな課題ですね。」また、経済環境の変化により、個人店はより厳しい状況に置かれています。「フランチャイズや大手資本のチェーンが生き残る一方で、個人経営の店は戦略的に動かないと難しい時代になっています。」それでも、西田さんは地域密着型の取り組みを続けています。例えば、子ども食堂の支援など、社会貢献活動にも力を入れています。—今治市倫理法人会との出会いと学び— 「今治市倫理法人会に入会したのは、中小企業家同友会の全国大会がきっかけでした。経営者として学びを深める中で、『経営環境を整えることが社員のためになる』と強く感じました。」現在は、朝礼で企業理念を共有するなど、学びを実践に活かしています。—個人店の生き残り戦略— 「これからの時代、大手との差別化が重要です。個人店だからこそできること、例えば地域とのつながりを強化することで生き残っていききたいですね。」これからも西田さんは、ラーメンを通じて地域に貢献し、新しい挑戦を続けていきます。



子どもたちにもお腹いっぱい食べてもらいたいという想いから生まれた企画、「こどもおうえんチケット」。この企画にご賛同いただいた方が1枚500円で購入できます。光屋に来店したお子さまがこのチケットでラーメン1杯と交換できるシステムです。



西田 光宏 氏 (にしだみつひろ)
令和6年4月入会
【久留米ラーメン光屋】
住 所：今治市常盤町5丁目1-18
TEL：0898-32-3227
業務内容：飲食業

会員トピックス 「呉服すがたや」創業100周年

今治市で呉服や和雑貨を取り扱う「呉服すがたや」が、2025年に創業100周年を迎えました。

—地域と共に歩んだ100年—

大正14年に創業した「呉服すがたや」は、長年にわたり今治市とその市民の暮らしに寄り添い、呉服を提供してきました。当初は呉服のみを扱っていましたが、三代目が継いだ1999年からは、雛人形をはじめとする和雑貨の販売も開始。本物を追求した手仕事の逸品をお客様へ届けることを大切に、伝統と革新を融合させた商品を取り揃えてきました。

—四代目田中夫妻が紡ぐ新たな歴史—

現在は四代目田中夫妻が二人三脚でお店を支えています。四代目が就任して3年が経ち、重責を感じながらも、お客様に喜んでいただける品を届けるために日々努力を重ねています。夫婦で産地を訪れ、職人の話を聞き、意見を出し合いながら、着物や人形などの品々を厳選しています。その過程には難しさもありますが、お客様や問屋さんからの励ましの言葉が支えとなり、頑張る力になっています。

—四代目田中良明—

呉服すがたやは大正14年に創業し、今年で創業100周年を迎えることができました。全て皆様のおかげです。創業100周年記念百寿展にお足元の悪いなか多くのご来訪、多くのお祝いをいただきまして重ねて御礼申し上げます。父から「あとは任せだぞ!」と言われたのが、ちょうど3年前の今頃でした。私が32歳で四代目を就任して、四代目を迎えております。思っていたより、だいぶ早くに代が替わり責任の重さやプレッシャーを重く感じてきた、この3年間。子供が成長するにつれ時間が出来ていくことで、妻と2人で着物だけでなくお雛様、五月人形の意見を出し合い、産地を訪れ、話を聞き、歩き、そして意見を出し合いながらの日に楽しくまた難しさを感じています。なによりも嬉しく頑張れたのは、お客様や問屋さん達からの励ましの言葉でした。初代から受け継いできた家訓、『御得意様繁盛と感謝の心』を胸にこれからも精進してまいります。今後ともご厚顧を賜りますようお願い申し上げます。



【呉服すがたや】
住 所：今治市風早町2-2-18
TEL：0898-22-1711
定休日：水曜日